

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	14121	授業題目	学校経営特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火4
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	現在の学校の制度や組織運営を理解するための様々なアプローチ(その一例として歴史的手法)の有効性を考えるとともに、その方法論を体得する。また、学んだツールを用いて、諸外国や日本の具体的な動向を実際に読み解いてみる。						
授業計画	1 オリエンテーション 2～4 歴史的方法論の有効性を考える① 戦後の学校教育を振り返る～NHK教育・「シリーズ日本の宿題」を手がかりに～ 5 歴史的方法論の有効性を考える② 学校経営にアプローチするための研究方法としての歴史研究(論文講読) 6 NPMにもとづく新しい学校経営(英国)(トピック講義) 7～10 様々なアプローチ方法を学ぶ～日本教育経営学会編『シリーズ 教育の経営』の論文講読 11～14 現在とくに問題とされる特定のテーマについて、歴史的手法でアプローチする(演習) 15 学校経営特論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 現在の学校の制度や組織運営を理解するための様々なアプローチ(その一例として歴史的手法)の有効性を理解することができる 2 いずれかの手法を用いて諸外国や日本の具体的な動向を分析することができる						
授業時間外の学習	選んだ論文や歴史テーマについてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱う論文を予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14122	授業題目	学校経営特論演習		単位数	2	
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火3
担当教員名	平井貴美代		担当教員所属	学校教育専修			
担当教員電話	844-8463		担当教員E-Mail				
授業テーマと目的	「学校の有効性」(school effectiveness)を理論・ケーススタディ・事例研究などの様々な側面から演習し、考察を深める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の進め方、学校経営をめぐる最新の改革動向 2 外部評価から良い学校を考える(演習) 3 NPMや規制緩和にもとづく学校経営改革を考える(演習) 4 組織デザイン・組織運営のあり方から良い学校を考える(演習) 5 学習効果から良い学校を考える(演習) 6 コミュニティがつくる良い学校(事例研究)奈路小研究発表会 7 良い学校の条件 → 「学校の有効性」研究(レポート+講義) 8~9 事例分析に学ぶ良い学校の条件(グループ研究) 10 良い組織の条件 → オルフェウス・プロセス(演習) 11 事例研究の計画(レポート+演習) 12~14 事例研究の発表 15 学校経営特論演習の授業をふりかえって(まとめ) 						
達成目標(達成水準)	「学校の有効性」(school effectiveness)を理論・ケーススタディ・事例研究などの様々な側面から演習し、考察を深めることができる						
授業時間外の学習	選定した事例について資料を収集し、発表の準備をする 有効な学校経営を行う学校を実地に調査する						
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法	授業中に行う発表内容や授業への参加状況、グループ発表、個人レポート(事例研究)の取り組み内容等から総合的に判断します。						

授業コード	14165	授業題目	道徳教育特論Ⅲ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月4
担当教員名	田沼 茂紀			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8394			担当教員 E-Mail	stanuma@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	モラル・ハザードの時代にあつて、学校教育は家庭・地域とどのように連携しながら道徳性を子どもたちに育めばよいのかを理論と実践の両面から考察する。特に道徳的実践力育成の視点から、道徳の時間の特質、道徳の時間の指導原理、道徳教育の評価法と問題点等を課題として取り上げ、道徳教育充実に向けた方策を検討する。						
授業計画	<p>テキスト講読をベースに、補助資料を適宜活用し、ディスカッションを中心に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の道徳教育成立過程 ・道徳教育の目標と内容 ・道徳教育や道徳の時間の指導理論 ・道徳教育の指導資料論 ・道徳教育における評価理論 						
達成目標(達成水準)	<p>①わが国の道徳教育の基本構造について理解することができる。</p> <p>②道徳の時間の指導方法、指導資料、評価法等について理解することができる。</p>						
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の講義内容を予告し、各自が課題点等持ち寄つて授業に参加できるようにする。 ・必要に応じてレポートを課すことがある。 						
教科書・参考書	<p>『道徳の授業理論』押谷 慶昭 1989年 教育開発研究所</p> <p>『小(中)学校学習指導要領解説』文部科学省 1999年 独立法人行政国立印刷局</p>						
成績評価の基準と方法	<p>成績評価は、レポート提出をもってこれに充てる。</p> <p>評価の基準は、道徳教育に対する自らの問題意識と提言・方策が明確に論述されていることとする。</p>						

授業コード	14166	授業題目	道徳教育特論演習Ⅲ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月4
担当教員名	田沼 茂紀			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8394			担当教員 E-Mail	stanuma@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	わが国における戦後道徳教育の方法論的な変遷を辿りながら、そこに内在する問題点を明確化し、今後求められるアプローチについて検討する。本講では、特に道徳性発達の視点から、道徳性の特質を明確にしていくために、道徳性心理学において影響を及ぼした諸理論を比較的に分析・考察する。						
授業計画	<p>戦後道徳教育の方法論的な変遷を辿り、道徳性発達にかかわる諸理論を踏まえながら今後求められるアプローチについて検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後道徳教育の変遷 ・道徳性発達の考え方 ・道徳性にかかわる諸理論の検討・分析 ・道徳教育の課題とその克服方策の検討 						
達成目標(達成水準)	<p>①道徳性発達の諸理論について概括することができる。</p> <p>②今後の道徳教育が克服すべき課題とその方策について考えをもつことができる。</p>						
授業時間外の学習	受講者が相互に提案者、司会等の役割を分担し、事前学習を踏まえて授業に臨めるよう配慮していく。また、毎時間のテーマに即して輪番でレポーターとなって提案するような形態を取っていく。						
教科書・参考書	<p>『道徳性を発達させる授業のコツ』J. ライマー, D. P. パオリット, R. H. ハーシュ, 荒木紀幸監 2004年 北大路書房</p> <p>『道徳性心理学』日本道徳性心理学研究会編 1992年 北大路書房</p>						
成績評価の基準と方法	<p>成績評価は、レポート提出をもってこれに充てる。</p> <p>評価の基準は、道徳性発達を踏まえたわが国の道徳教育施策への提言が明確に論述されていることとする。</p>						

授業コード	14172	授業題目	生徒指導特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	木 3
担当教員名	高柳真人			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8393			担当教員 E-Mail	keitan@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	児童生徒の自己実現を援助するという視点から、学校や教員が行えるアプローチについて検討する。						
授業計画	生徒指導に関する文献講読や、それを踏まえたディスカッションやワークを行う。						
達成目標(達成水準)	自己実現を支援するうえで必要と考えられる生徒指導の知識や技法を習得することを目標とする。						
授業時間外の学習	授業に関連した文献、論文などを読んだり、教育現場で起こっている現象に関する出来事について情報を収集しておくこと。						
教科書・参考書	文部省「生徒指導の手引き(改訂版)」						
成績評価の基準と方法	自分なりの児童生徒の自己実現支援策を見出せたかということを、授業での発表や討議、レポートなどをもとに判断する。						

授業コード	14181	授業題目	社会教育特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金3
担当教員名	内田純一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内8940			担当教員 E-Mail	uchida@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	社会教育を教育の再編成原理として理解し、「教育」を探求することの意味を考えるとともに、教育学の修士論文を作成していく基礎的能力を身につける。						
授業計画	1回～8回:現代教育改革の諸相(講義) 9回～15回:教育の再編成原理としての社会教育(講義)						
達成目標(達成水準)	現代教育改革の諸相を理解するとともに、その再編成原理としての社会教育の価値について理解する。						
授業時間外の学習	特になし						
教科書・参考書	特になし						
成績評価の基準と方法	達成目標を確認するためのレポート						

授業コード	14182	授業題目	社会教育特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金3
担当教員名	内田 純一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内8940			担当教員 E-Mail	uchida@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	前期の社会教育特論を踏まえ、文献講読を中心に、社会教育原理を基本とした教育学の再創造・再構成の可能性について検討する。						
授業計画	テキスト『社会教育』（島田修一編著・国土社）を講読しながら授業目的にせまる。 第1回：概要。第2回～5回：第一部。第6回～9回：第2部。第10回～第14回：第3部。第15回：まとめ						
達成目標（達成水準）	社会教育を教育の再編成原理として理解し、自らの研究関心を深めることと合わせて、「教育学とは何か」について説明できる。						
授業時間外の学習	特になし						
教科書・参考書	島田修一編著『社会教育～自治と協同的創造の教育学』国土社 2006年4月						
成績評価の基準と方法	講読に関する発表及び達成目標を確認するためのレポート						

授業コード	14191	授業題目	教育心理学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	木 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	教育心理学の主要領域の1つである学習と教授の心理学について、新しい研究知見を取り入れながら、理論的・実践的な両面から講義を行う。						
授業計画	学習の動機づけ、問題解決能力や思考力の育成、学習方略やメタ認知能力の育成、個に応じた学習指導などについて説明し、受講生は論文や文献などからレポート作成、発表・討論を行う。						
達成目標(達成水準)	教育心理学的視点から、教授・学習に関する理論的知識を身につけるとともに、教育実践に役立たせようとする態度を身につけることができるようにする。						
授業時間外の学習	レポート作成のために、授業時間外での学習に多くの時間を要する。						
教科書・参考書	学習指導の心理学(北尾倫彦著、有斐閣)						
成績評価の基準と方法	出席回数とレポート発表、授業への積極的な態度などを総合して評価する。						

授業コード	14192	授業題目	教育心理学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	木 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	認知心理学的、学習心理学的、発達心理学的視点から、子どもの学習過程に関する理論的研究を行い、教育実践へのアプローチを行う。						
授業計画	学習への動機づけ、記憶、思考、学習法略や認知方略、メタ認知、協同的学びなどに関する文献や論文を読み、これらの知見を生かしながら、研究テーマや研究方法を探る。						
達成目標(達成水準)	先行論文や先行研究を参考にして、自分の研究を開発することができるようになる。						
授業時間外の学習	研究能力の育成を基本にしているので、文献や論文を調べたり、読破しなければならないために、授業時間外の学習がかなり要求される。						
教科書・参考書	授業においてその都度紹介する。						
成績評価の基準と方法	論文や文献を調べる、レジメを作成する、発表する、研究計画を立てるなどを総合して評価する。						

授業コード	14211	授業題目	障害児教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	月 5
担当教員名	是永かな子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	8433			担当教員 E-Mail	sverige@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	日本における障害児教育、特別支援教育、特別ニーズ教育をめぐる課題・論点を整理するため、関連分野の基礎的文献を購読する。購読予定の文献は、日本国内外の著書、学会誌・大学紀要掲載論文、学会発表要旨収録などから、受講者の興味・関心を考慮しつつ、随時提示する。受講者が分担して文献の内容を報告し、教員が報告に基づいた補足説明を行い、その上で内容について参加者全員で議論する。						
授業計画	第 1 回オリエンテーション 第 2 回佐藤学(1999)『教育改革をデザインする』岩波書店 第 3 回三浦展(2005)『下流社会』光文社新書 第 4 回姜尚中(2004)『デモクラシーの冒険』集英社新書 第 5 回富永健一(2001)『社会変動の中の福祉国家』中公新書 第 6 回藤田英典(2005)『義務教育を問いなおす』ちくま新書 第 7 回志水宏吉(2005)『学力を育てる』岩波新書 第 8 回小浜逸郎(1999)『「弱者」とはだれか』PHP 新書 第 9 回中西正司・上野千鶴子(2003)『当事者主権』岩波新書 第 10 回大川弥生(2004)『新しいリハビリテーション』講談社現代新書 第 11 回大野智也(1988)『障害者は、いま』岩波新書 第 12 回高橋明(2004)『障害者とスポーツ』岩波新書 第 13 回磯部潮(2005)『発達障害かもしれない』光文社新書 第 14 回上野一彦(2003)『LDとADHD』講談社+α 新書 第 15 回大沼直樹・吉利宗久(2005)『特別支援教育の理論と方法』培風館						
達成目標(達成水準)	担当分の文献の概要をまとめ、自分の研究テーマに従って考察を書き、論点を提起する。論点に対して論理的に見解を述べることができる。						
授業時間外の学習	事前の文献購読						
教科書・参考書	上記 14 冊のテキスト						
成績評価の基準と方法	出席 10%、発表 70%、討論への参加 20%						

授業コード	14212	授業題目	障害児教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	月 5
担当教員名	是永かな子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	8433			担当教員 E-Mail	sverige@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>修士論文執筆を念頭に置き、障害児教育学の研究方法論を習得することを目的として文献購読の演習を行う。購読文献は、受講者の研究テーマの関連領域の学位論文、雑誌掲載の原著論文・レビュー論文、紀要論文、学会発表要旨収録などから、受講者各人が収集して報告する。報告に基づき研究方法論について議論する。自分の研究テーマ以外の文献を購読することによって、それぞれの興味・関心を広げることも演習の目的とする。</p>						
授業計画	<p>第 1 回オリエンテーション 第 2 回～第 14 回 毎回 3 本文献の文献について検討 第 15 回総括</p>						
達成目標(達成水準)	<p>論文を講読して、研究の目的、研究の仮説、研究の視点、研究の方法、結果などを論文の「概要」として示すことができる。「考察」として自分の研究に講読文献がいかに寄与するかを記述することができる。</p>						
授業時間外の学習	<p>事前の文献講読</p>						
教科書・参考書	<p>参加者各人が収集してきた文献</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席 10%、発表 70%、討論への参加 20%</p>						

授業コード	14213	授業題目	障害児教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	渡部昭男			担当教員所属	鳥取大学・教育地域科学部		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	戦後の日本における障害児の「教育を受ける権利」「特別なケアへの権利」保障の歩みを中心に、現代の特別支援教育の政策動向も睨みながら、「能力原理」から「必要原理」への転換過程を権利保障運動とそれへの政策・行政対応というダイナミズムの下に考究する。						
授業計画	第1回オリエンテーション 第2回～第14回障害児の「教育を受ける権利」「特別なケアへの権利」保障、特別支援教育の政策動向など、権利保障運動とそれへの政策・行政対応 第15回総括						
達成目標(達成水準)	本講義内容を理解する。						
授業時間外の学習	レポート課題						
教科書・参考書	鳥取大学附属養護学校『「自分づくり」を支援する学校』 神戸大学附属養護学校『コミュニケーションの関係がひらく障害児教育』						
成績評価の基準と方法	出席 40%、発表 10%、レポート 50%						

授業コード	14221	授業題目	障害児臨床心理学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	木 5
担当教員名	稲富真彦			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8436			担当教員 E-Mail	inatomi@cc.kohi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>発達障害児の指導は発達、障害、生活など総合的把握にもとづいて行なわれる。発達、障害、生活などの概念把握は指導方法と密接にかかわっており、これらについて内外の文献を紹介し講義する。特にダウン症、重症心身障害、軽度発達障害などを取り上げながら具体的に理解を深める。</p>						
授業計画	<p>1-3 回目：障害児臨床心理学の構想と方法、教育・心理・福祉を包含した臨床心理学の模索と枠組み 障害の類型的把握の到達と課題 4-15 回目：知的障害児 重症心身障害児 軽度発達障害児 の臨床心理学的把握について</p>						
達成目標(達成水準)	<p>現代社会における障害をもつ子ども・大人の生存・成長を支える援助的実践、現代社会における障害をもつ人間形成の問題と課題、現代の障害者の生存・発達を支える発達援助者をめぐる問題と課題について個々の類型的障害種別に検討しながら理解する。</p>						
授業時間外の学習	<p>通常の教育学についての学習、特に戦後及び今日の障害児教育、特別支援教育の課題についての学習</p>						
教科書・参考書	<p>W.C.クレイン(小林芳郎、中島実共訳)『発達の理論』(1984)田研出版 R.M.ホダップ J.A.ブウラック E.ジグラ編(小松秀茂・清水貞夫編訳)『障害児理解の到達点 ジグラ一学派の発達論的アプローチ』(1994)田研出版</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席 50 レポート 50</p>						

授業コード	14222	授業題目	障害児臨床心理学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	木 5
担当教員名	稲富真彦			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8436			担当教員 E-Mail	inatomi@cc.kohi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	発達障害児の指導について、ダウン症や重症心身障害児、軽度発達障害児を対象としながら発達診断の方法、指導について学習する。1. 各種発達検査及び下位項目の検討、2. 発達検査過程・結果及び事例の生育歴、教育歴、疾病・障害歴などを総合的に分析した発達段階の確定方法、3. 指導の方向性の分析について実習を取り入れて行なう。						
授業計画	これまで30年間に発達相談したケースや最新の事例について発達診断結果を紹介しながら講義する。また、関連する文献、ゲゼルやピアジェ、田中昌人らの発達理論をあわせて学んでいく。						
達成目標(達成水準)	現代社会における障害をもつ子ども・大人の生存・成長を支える援助的実践、現代社会における障害をもつ人間形成の問題と課題、現代の障害者の生存・発達を支える発達援助者をめぐる問題と課題について個々の類型的障害別に検討しながら理解する。						
授業時間外の学習	授業時間に紹介した関連する文献を読む。						
教科書・参考書	W.C.クレイン(小林芳郎、中島実共訳)『発達の理論』(1984)田研出版 田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断 3 幼児期 I』(1984)大月書店						
成績評価の基準と方法	出席 50 レポート 50						

授業コード	14223	授業題目	障害児心理学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金5
担当教員名	寺田 信一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	8453			担当教員E-Mail	stera@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	まず、障害児発達の基礎知識を講義し、次に個別の指導計画を立案する上で根拠となりうる障害児発達研究の紹介や、客観的な評価法といった実践に結びついた技能を講義する。						
授業計画	第1回 障害児心理学とは 第2回 特別支援教育の教育相談 第3回 教育相談に用いる心理検査 第4回 指導計画の作成と指導 第5-15回 障害児心理学ならびに指導に関わる文献を受講生が紹介し、その内容に関する知識を深めるための解説を行なう。						
達成目標(達成水準)	障害児発達に関する基礎知識を獲得し、様々な領域の今日的課題について一定の理解をできる。						
授業時間外の学習	担当となる週には、特定にテーマに関して関連する文献を読み込み、文献の内容を要約する。						
教科書・参考書	それぞれの週に紹介された文献に関連する書籍や論文を適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	出席30% 発表35% 討論への参加35%						

授業コード	14224	授業題目	障害児心理学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金5
担当教員名	寺田 信一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	8453			担当教員E-Mail	stera@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	受講生の関心領域に関する研究論文をその受講生が紹介し、障害児を観る視点、行動の記述法、発達評価の考え方、各種の発達検査の適用法やその限界、実際の発達検査の施行法等について受講生全員で討議する。さらに、行動評価と脳機能評価を組み合わせた発達臨床生理心理学的手法の習得をめざし、行動上の発達と脳機能状態とのズレから発達可能性を評価する方法を学ぶ。						
授業計画	第1-15回 受講生の関心領域に関わる文献を受講生が紹介し、その内容に関する知識を深めるための解説を行なう。						
達成目標(達成水準)	障害児発達に関する基礎知識を獲得し、様々な領域の今日的課題について一定の理解をできる。						
授業時間外の学習	担当となる週には、特定にテーマに関して関連する文献を読み込み、文献の内容を要約する。						
教科書・参考書	それぞれの週に紹介された文献に関連する書籍や論文を適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	出席30% 発表35% 討論への参加35%						

。授業コード	14231	授業題目	障害児病理学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	水1
担当教員名	倉繁迪			担当教員所属	高知大学保健管理センター		
担当教員電話	088-844-8157			担当教員 E-Mail	kurasige@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	ヒトの正常な成長、発達を理解した上で、主として発達障害及びそれらに関する疾病について、その原因、病理、臨床像、治療ならびに対処法について、これまでの研究、臨床経験をもとに講義し、あわせて参考文献の講読を行ないながら学習する。						
授業計画	①人の正常発達と成長 ②発達障害とその関連疾患の原因、病理、症状、合併症、治療 ③心身症 ④慢性疾患						
達成目標(達成水準)	発達障害とその関連疾患、心身症、慢性疾患等について医学的に正しく理解し、それらに適切に対応できる能力を身に着ける。						
授業時間外の学習	適宜与えられた課題についてレポート作成						
教科書・参考書	発達障害児の医療・療育・教育(金芳堂)						
成績評価の基準と方法	レポート、試験						

授業コード	14232	授業題目	障害児病理学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	水 2
担当教員名	倉繁迪			担当教員所属	高知大学保健管理センター		
担当教員電話	088-844-8157			担当教員 E-Mail	Kurasige@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	主として発達障害及びそれらに関連する疾病について、その発生原因、病理、臨床像、治療法について学び、障害児や慢性疾患をもつ病弱児の手記、記録、小説等を読み、また実際に接することによりかれらに対する理解を深め、問題点について分析検討する。						
授業計画	①高知県立若草養護学校 土佐希望の家分校の見学 ②各自障害児等に関する手記、記録、小説等を読んでプレゼンテーションを行いそれについて全員で検討する。						
達成目標(達成水準)	①及び②を行なうことで障害児(者)、病弱児について単に医学的知識を得るだけでなく社会に生きる存在として理解し、よりよき教育、支援を行なう姿勢、力を身につける。						
授業時間外の学習	②のためにレポートを作成、プレゼンテーションの準備をする。						
教科書・参考書	発達障害児の医療・療育・教育(金芳堂) 各自で障害児(者)、病弱児に関する手記、記録、小説等を一冊選ぶ						
成績評価の基準と方法	レポート及びそのプレゼンテーションを評価						

授業コード		授業題目	学校教育実践研究 I (長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	神山, 高柳, 岡谷, 内田, 田沼, 平井			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	学校教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	神山, 高柳, 岡谷, 内田, 田沼, 平井			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	学校教育実践研究Ⅲ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	馬場園, 藤田, 丹羽, 古口			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	学校教育実践研究Ⅳ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	馬場園, 藤田, 丹羽, 古口			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	障害児教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	
担当教員名	是永、稲富、寺田			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	障害児教育に関する附属校園等での研究をもとに、教育課程編成、生徒指導、教材内容・教材開発、指導法などについて、障害児教育学の見地から理論的に研究することを指導する。						
授業計画	第1回～第15回オリエンテーション、教育課程編成、生徒指導、教材内容・教材開発、指導法など各人の課題に応じて計画をたて、実施する。成果は理論的・研究的に総括する。						
達成目標(達成水準)	実践演習計画の作成、実施、総括を指導教員とともに進めることができる。						
授業時間外の学習	演習の準備。						
教科書・参考書	必要に応じて指定する。						
成績評価の基準と方法	出席 60%、演習 40%						

授業コード		授業題目	障害児教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	
担当教員名	是永、稲富、寺田			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属養護学校等の授業や学校運営に関する実践の観察・記録・参加を通じて、児童・生徒指導、カウンセリング、教育測定・評価等について、実証的に研究することを指導する。						
授業計画	第1回～第15回オリエンテーション、学校運営に関する実践の観察・記録・参加を通じて、児童・生徒指導、カウンセリング、教育測定・評価等についてなど各人の課題に応じて計画をたて、実施する。成果は実証的・研究的に総括する。						
達成目標(達成水準)	実践演習計画の作成、実施、総括を指導教員とともに行うことができる。						
授業時間外の学習	演習の準備。						
教科書・参考書	必要に応じて指定する。						
成績評価の基準と方法	出席 60%、演習 40%						

授業コード		授業題目	障害児教育実践研究 I (長期インターンシップ)			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	
担当教員名	是永、稲富、寺田			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	<p>附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画案作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。</p>						
授業計画	<p>第1回～第15回オリエンテーション、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画案作成、実践的な課題研究テーマ設定の基盤形成、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、もしくは事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察し、実施する。成果は実践的指導力の観点から総括する。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>実践演習計画の作成、実施、総括を指導教員とともに行うことができる。</p>						
授業時間外の学習	<p>演習の準備。</p>						
教科書・参考書	<p>必要に応じて指定する。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席 60%、演習 40%</p>						

授業コード		授業題目	障害児教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限
担当教員名	是永、稲富、寺田			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	<p>附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画案作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。</p>					
授業計画	<p>第1回～第15回オリエンテーション、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、単元計画作成、またはLD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画案作成、実践的な課題研究テーマ設定の基盤形成、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、もしくは事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察し、実施する。成果は実践的指導力の観点から総括する。</p>					
達成目標(達成水準)	<p>実践演習計画の作成、実施、総括を指導教員とともに行うことができる。</p>					
授業時間外の学習	<p>演習の準備。</p>					
教科書・参考書	<p>必要に応じて指定する。</p>					
成績評価の基準と方法	<p>出席 60%、演習 40%</p>					

授業コード		授業題目	課題研究		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2学期	曜日・時限
担当教員名	神山・馬場園・藤田・丹羽・寺田・田沼			担当教員所属	学校教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	修士論文に直結する研究を指導する					
授業計画						
達成目標(達成水準)						
授業時間外の学習						
教科書・参考書						
成績評価の基準と方法						